

### 現在も被害範囲拡大中！

日本で最大の森林病虫害である**マツ枯れ(松くい虫被害)**、今回はその歴史についてご紹介します。

日本において、マツ枯れによると考えられるマツの集団枯損について、現在確認できる中で最も古い記録は、1905年の長崎市周辺のものです。その後、被害は近県に拡大し、徐々に日本列島を北上していきました(図1)。特に戦中戦後はマツ枯れ防除を行う余裕がなく、被害が拡大したようです。平成28年度には、北海道を除く46都道府県で被害が発生しています。

全国の松枯れ被害量については、昭和54年度の約243万 $m^3$ がピークで、近年は減少傾向にあります(図2)。しかし、温暖化の影響か、以前は被害が見られなかった高緯度・高標高地域で発生が確認されるなど、被害発生範囲は拡大し続けています。

被害が軽微になった地域においても、気象要因等によっては再び激しい被害を受けるおそれがあるため、被害状況に応じた的確な対策をとる必要があるといえます。

図1. 被害材積量の推移

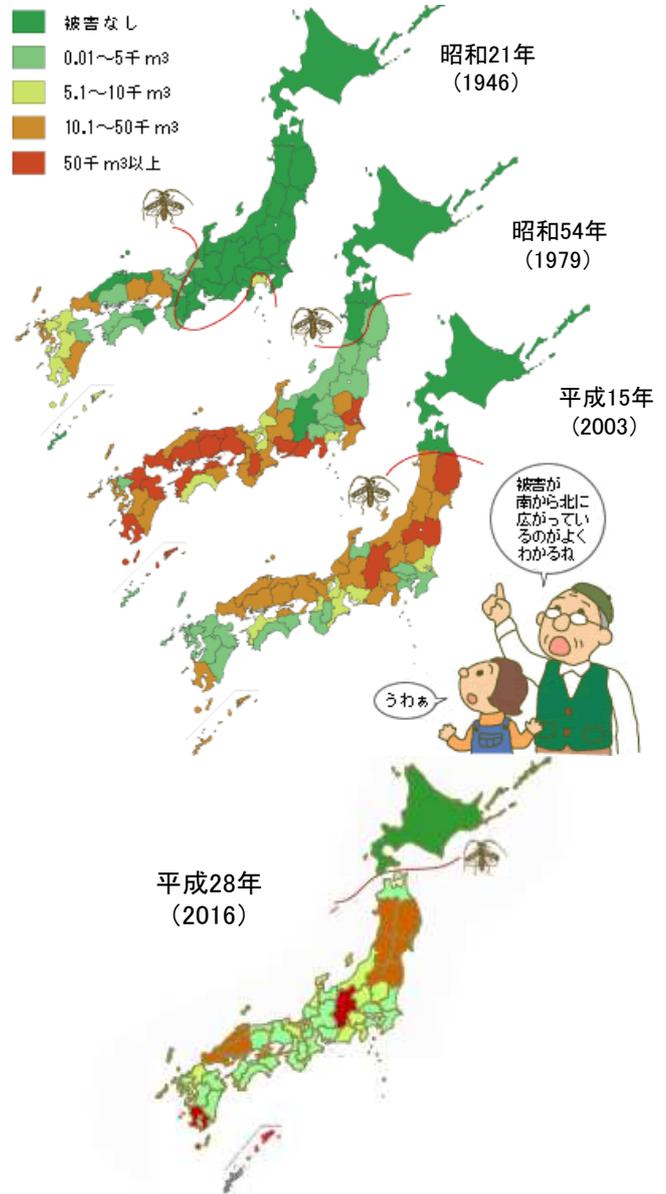
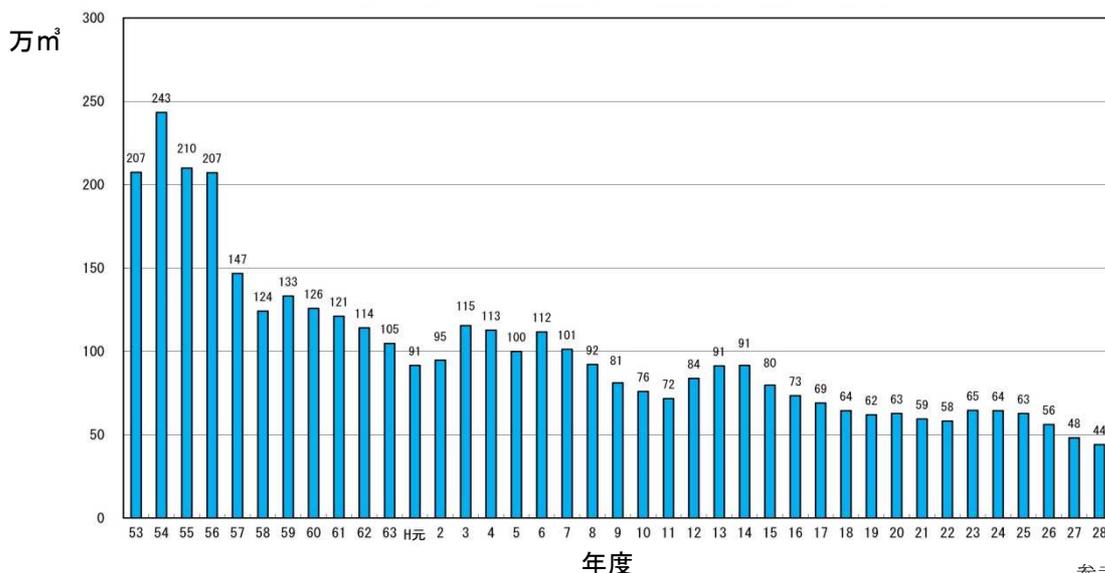


図2. 全国の松くい虫被害量(被害材積)の推移



## 製品紹介

## グリーンガード・NEO

7年の効果持続期間



- 内容成分：酒石酸モランテル 20%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：A類
- 製造元：ゾエティス
- 包装：90ml/本、50本入り/ケース

- 樹幹注入材の中でもトップシェアの実績を誇る「グリーンガード」シリーズ
  - 「グリーンガード・NEO」は、従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工できます。
  - 樹体に直接注入するので、ドリフトなどの心配がありません。
  - 一度施工すると予防効果は7年間持続します。
- ※病気などで弱っている松へのグリーンガードの施工は不適です。

使用量	
胸高直径（樹幹部）	薬量
10～15cm	90ml
15～20cm	135ml
20～25cm	180～270ml
25～30cm	270～360ml
30～35cm	360～450ml
35～40cm	450～540ml

作物名	適用害虫名	使用時期
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生3ヶ月前まで

※40cm以上は5cm増すごとに  
0.5～1.5アンプルを順次増量

## グリーンガード・NEO ～施工の流れ～



取扱い・お問合せは—

緑を育み、未来へつなぐ  
**株式会社 サカエグリーン**

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地  
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968